

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年8月13日 (月)  
 NO. 883号 本号3頁

## 翁長知事が死去

### 「新基地つくらせぬ」遺志を受け継ぎたたかい抜こう！

沖縄県の翁長雄志知事が8日の午後、がんのため入院中だった浦添総合病院で死去しました。67歳でした。名護市辺野古新基地建設への反対を最後まで貫きました。

翁長知事は、那覇市議、県議、那覇市長を歴任し、かつて自民党県連幹事長を務めた保守の政治家でしたが、2014年に県政野党、経済界有志、保守勢力から、立場の違いを超えて新基地建設に反対する「オール沖縄」の候補としての知事選への出馬要請を受け、那覇市長の職を辞して立候補。新基地建設容認の当時の現職を打ち破り、知事に初当選しました。

「辺野古に新基地を造らせないという私の決意は県民とともにあり、これからもみじんも揺らぐことはない」「米軍基地は沖縄県経済発展の最大の障害要因」「平和で誇りある豊かな沖縄を築くため、全力で取り組んでいく」などと繰り返し訴えていました。そして、7月27日には、新基地建設の工事を止めるための、前知事の埋め立て承認を撤回する手続きを開始すると表明していました。

心からご冥福をお祈りいたします。不屈の信念と、烈々たる気概で、辺野古新基地反対を貫いた4年間のたたかいに、深い敬意と感謝をささげます。そして、「新基地つくらせぬ」の遺志を受け継ぎたたかい抜きましょう！

## 新潟 市民・シンポジウム「未来の道しるべとしての日本国憲法 －アジア市民の視点から憲法9条を考える－」を開催

新潟市内の新潟ユニゾンプラザ5階中研修室で5日(日)14:00～16:00、市民・シンポジウム「未来の道しるべとしての日本国憲法－アジア市民の視点から憲法9条を考える－」が開催されました。主催団体は、「安倍9条改憲NO！市民アクション@新潟&日本平和学会」です。参加者は90名で、資料を80部用意しましたが10部程不足という事態で大盛況でした。

開会・閉会あいさつを、酢山省三・新潟県憲法会議事務局長が行いました。コーディネーターは、黒田敏郎さん(新潟県立大学教授・日本平和学会)。そして、話題提供者として、①「東アジア政治の展開と日本国憲法」佐々木寛さん(新潟国際上表大学教授・日本平和学会)、②「憲法9条を沖縄から再びとらえ返す」福本圭介さん(新潟県立大学教授・日本平和学会)、そして③「軍事費とくらしから考える日本国憲法」東森英男さん(安保破棄中央実行委員会事務局長)の3名からご報告していただきました。



<3名の話題提供の骨子>

#### ① 佐々木寛さん

- ・朝鮮半島で始まった南北・米朝の対話のプロセスが東アジアに平和の流れを作り出している。
- ・米朝関係のこじれを理由に改憲と軍拡を進めてきた安倍政権、今やその正当性を失いつつある。

- ・憲法前文の「平和を愛する諸国民の公正と審議に信頼して・・・」が大切。私たち日本の市民社会が冷戦思考から脱却して、東アジア諸国の市民社会と交流し発展することで、力対力ではない新しい東アジアをつくることは可能。

②福本圭介さん

- ・憲法 9 条と日米安保は本来矛盾するはず。本土への基地引き取りを議論することで、基地と安保条約の理不尽さを考えたい。

③東森英男さん

- ・安倍政権のもとで急速な軍拡と米国依存が進み、軍事費は過去最高の 5.19 兆円（2018 年度）、防衛装備の最大調達先は米政府になった。
- ・一方で社会保障費は、安倍政権の 6 年間で 1.6 兆円削減された。憲法 25 条違反だ。軍事費を削って福祉に回せの声を上げよう。

質疑応答では、「沖縄に回答する会」の活動を中心に活発に意見交換がなされました。

閉会あいさつで司会の酢山氏は、①今日は日本国憲法を「アジアの視点でグローバル」に、そして生活の視点から「足元」からリアルに考えることができた。②安倍首相が戦争法等で憲法 9 条を変質させてきたが、自衛隊が米軍と一緒に海外での戦争を起こすことに憲法 9 条は大きな歯止めとなっている。そのことを一番知っている安倍は通常国会での「改憲への発議」の失敗を秋の臨時国会での挽回を狙ってくることは間違いない。改憲発議阻止が秋の最大の課題だ。③安倍 9 条改憲を阻止するためには安倍を倒すしかない。様々なテーマ、課題での国民闘争を飛躍させ、結果的に安倍政権を倒しに行こう。④当面は来夏の参院選で新潟での「市民と野党の共闘」の闘いの準備を急ごう。と呼びかけました。

## 各地のとくみ

### 愛知・名古屋 走って戦争反対・核兵器廃絶を訴える！

戦争反対、核兵器廃絶を元気に走ってアピールする、あいち反核・平和マラソン&ジョギング大会が 5 日、猛暑の中、名古屋市昭和区の鶴舞公園で開催されました。

新日本スポーツ連盟愛知県連盟ランニング協会が「広島、長崎の被爆者を追悼し、名古屋でも何かやろう」と 2001 年から始め、今年で 18 回目となりました。

青木正雄会長はくれぐれも体調に気を付けながら走って欲しい。戦時下、多くの若者がスポーツを楽しむことを奪われた。原爆が投下された後も、熱さと暑さのなか必死に生き抜こうとした人たちに思いをはせながら走ろう」とあいさつしました。

スタートの午前 9 時の気温は 30 度。参加したランナーは入念にストレッチして走り始めました。

京都市から参加した男性（53）は「各地の平和マラソンに参加しています。核兵器廃絶に向けて地道だけど、走ることでアピールできたらうれしい」と話しました。

参加 10 回目の筒井顕治さん（62）は「日本が核兵器禁止条約を批准していないのは非常に残念。マラソンで平和をアピールし続けたい」と。また、初めて参加した男性（44）は「走ることで平和に貢献できたらいいですね」と語りました。



2016 年の反核・平和マラソン

### 香川 知事選を目前に「安倍政権退陣」を求めてデモ行進

知事選挙を目前にした 6 日、香川革新懇と 9 条の会は、高松市の商店街で「安倍政権退陣」を求めてデモ行進しました。50 人が参加。デモを前に日本共産党の白川春子四国ブロック国政対策委員長、新社会党の井角操県委員長、知事選をたたかう「明るい民主県政をきずく香川県連絡会議」のひめだ英二知事候補、県内の民主団体がリレートークしました。

白川氏は「世界の流れは核兵器禁止条約を昨年採択させたが、日本は批准もしない恥ずべき姿だ。安倍政権退陣へ、絶対あきらまない声を広げていこう」と強調し、井角氏は「安倍政権に組する知事を出すことはできない。ひめだ氏とともにたたかう」と訴えました。



ひめだ氏は「広島市長が核兵器のない世界の実現に向けて日本が役割を果たすよう求めていた。国に堂々とものが言える知事になりたい」と話しました。

訴えに立ち止まっていた男性（86）は「原発廃炉や核兵器問題で堂々とものが言える知事がほしい」と話しました。

## **東京・中野** 代替わり儀式的持つ危険性を学ぶ！

7月29日、天皇の代替わり儀式研究の第一人者である元神奈川大学学長の中島三千男さんの講演会を中野区産業振興センターで開催しました。中島さんは来年の代替わり儀式的持つ危険性について、満員の聴衆に熱っぽく語りました。

前回の「平成」の代替わり儀式は、昭和天皇の重態を理由に、開かれた議論がないまま、神社界等の策動もあり戦前の皇室典範、登極令（とうきょくれい）に準じた形で挙行されました。来年もそれを踏襲した形で行われようとしています。

例えば、天照大神から授かり皇位の印とされた神器の受け渡しの儀式である「剣璽（けんじ）等承継の儀」を国事行為として行う事、また純然たる宗教儀式であり、天皇の神格化を図る「大嘗祭」（これだけで20億円）を公的行事として行う事などは戦前の国家理念即ち天皇制正統神話に基づくもので、神話を国民に目に見える形で演じる劇・芝居です。

代替わりの儀式はその時々々の国家理念を反映するもので、今回の儀式は「神権的・絶対主義的天皇制の否定」という戦後の国家理念・憲法理念に基づき、「政教分離・国民主権下の象徴天皇制にふさわしい儀式」として行われるべきです。

中島さんは安倍政権の戦前回帰（復古主義）的性格や国民的関心の弱さから、来年の儀式は憲法理念から一層後退する恐れがあり、戦前回帰の憲法改悪を先取りするものになると指摘しました。

今回の講演で「代替わりの儀式」の持つ意味がよく理解できました。憲法の視点で問題を捉え、批判の声を上げていかなければならないと強く思いました。（事務局）「中野革新懇ニュースより」

## **山口** 「イージス・アショア」配備等について現地から報告に学ぶ

下関市の「総がかり行動しものせ」は4日、米軍岩国基地、上関原発建設計画、萩市が候補地とされる陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」配備計画を現地からの報告で学ぶ学習会を開催し、70人が参加しました。



「住民投票を力にする会」の松田一志代表は、岩国基地の現状を示した上で、「戦闘機移駐で東アジア最大の航空基地と化したが実態の全容はまだ明らかになっていない」と指摘。米軍機の爆音被害をなくすよう求める署名を通じ、市民多数の声を集めたいと訴えました。

「上関の自然を守る会」の高島美登里代表は、希少な生物が生息する上関周辺の海を生かした地域おこしの取り組みを紹介。上関原発建設の再開に警鐘を鳴らしました。

「総がかり行動萩」の藤井郁子共同代表は、イージス・アショア配備は、「住民生活や憲法の理念、地方自治を壊す」と批判し、憲法を生かした平和外交こそ求められると強調しました。

**安倍 9 条改憲 NO!**  
**沖縄・辺野古新基地建設反対!**  
**安倍 政 権 退 陣!**  
**8.19 国会議員会館前行動**  
**8月19日 日** 16:00 ~ 17:00 (プレコンサート 15:50 ~)  
衆議院第2議員会館前 ~ 国会図書館前  
主催：安倍9条改憲NO! 全国市民アクション実行委員会  
戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会